

県政だより

# あきた 新時代

7 2004  
月号

平成16年7月1日発行 第106号  
[全戸配布広報紙]

編集・発行 / 秋田県情報公開課  
〒010-8570  
秋田市山王四丁目1番1号  
☎018(860)1073  
FAX 018(860)1072  
sinjidai@mail2.pref.akita.jp

## 「秋田にぎわい」座in池袋 開催!

～東京で秋田を強くアピール～

### 財政構造改革検討委員会を設置



「GAOで待ってまーす!」

オープン間近の男鹿水族館GAO。

たくさんある水槽の中で、圧巻なのがこの「男鹿の海大水槽」。

若くて元気なスタッフからは、「男鹿の海」に棲む魚たちの話を聞くことができます。

ところで皆さん、「男鹿の海大水槽」にはゴジラ岩があるんですよ。見つけられるでしょうか?

# 「秋田にぎわい座in池袋」開催!

東京で秋田を  
強くアピール

5月7日(金)から10日(月)までの4日間、JR池袋駅内で「秋田にぎわい座in池袋」が開催されました。

秋田にぎわい座は、本格的な観光シーズンを前に、県や県観光連盟、JR東日本など関係する団体と一緒に秋田のPRや誘客を進めるために企画したもので、一日60万人近い乗降客を誇るJR池袋駅の南口イベントスペースを中心に旗揚げしました。

観光PRコーナーや秋田まるごと物産市の前には、乗降客や行人がポスターに見入ったり、パンフレットや物産品を手取る光景が見られました。



なまはげとポーズ

また、期間中は連日なまはげが出没し、通行人と一緒にカメラに収まったり、子どもたちを驚かせたり、秋田を強く印象付けることに一役買っていました。

## 「秋田観光キャンペーンアシスタント」デビュー

秋田観光キャンペーンアシスタントはこのイベントが初仕事。アシスタントの板垣由美子さんは、秋田の温泉宿泊券や特産品が当たるアンケートの記入を呼びかけながら、笑顔で秋田をPRしていました。

「白神山地去りたいと言う人が多いです。東京の方は秋田がすごく遠いと思っているようで、飛行機で1時間と話すとても驚きます。そんなことから秋田を知ってもらいたいです」と板垣さん。

また、初の男性アシスタント高橋聖悟さんは「私が男のせいかな、得意分野のお酒の話が多いですね。冗談を交えながら、積極的に多くの人と接して秋田をPRしています。田沢湖や男鹿に興味を持っている人が多いですね」と話してくれました。



板垣さん



高橋さん

このほか、東京芸術劇場中ホールでは、8日と9日劇団わらび座の「男鹿の<sup>あにまる</sup>仁丸」公演が行われました。

また、秋田の温泉宿泊券や特産品が当たるアンケートには3,964件の応募があったほか、きりたんぼや稲庭うどん、秋田銘菓など、秋田を代表する特産品も飛ぶように売れました。

好評のうちに終了した「秋田にぎわい座in池袋」。このイベントが起爆剤となって、この夏、多くの方が秋田に来てくれることを期待したいものです。

## 「秋田にぎわいパフォーマンス」も人だかり

5月8日と9日は池袋駅のメトロポリタン自由通路で、劇団わらび座がパフォーマンス。西馬音内盆踊りのお囃子、角館飾山ばやし、秋田音頭による手踊りなども披露されました。お囃子をバックに、女性団員が「観光PRのために秋田から来ました!」と通行人に声を掛けると、皆さん足を止め、笛や太鼓、三味線の音に、手拍子を取る人が出るなど大変な人気。踊り手を取り囲む見物客の傍らでは、なまはげが記念撮影に応じるなど、こちらは大いににぎわっていました。



「秋田から来ました!」

## 「ブナの学校東京分校」は熱気がむんむん

東京厚生年金会館大ホールでは、8日に第2回ブナの学校東京分校が開催されました。

ブナの学校の本校は秋田と青森にまたがる「白神山地」。7月開催の授業では、森の達人によるセミナーやトレッキング、自然観察のほか、ブナの植樹体験などが予定されています。

分校には2,000人以上が出席。教室となった大ホールは満員となる盛況ぶりでしたが、実は6,800人の応募があったと聞いて会場がどよめきました。

三浦雄一郎さん、今井通子さんといった魅力的な講師陣もさることながら、ぜひ白神山地去ってみたいと言う方がほとんどで、白神山地は「分校の生徒」の心をしっかりとつかんでいました。



大盛況の「ブナの学校東京分校」

お問い合わせ

県観光課 TEL 018(860)2265 FAX 018(860)1719 ホームページ <http://www.akitafan.com/>  
ショッパーズのお問い合わせもこちらです。



# 秋田の応援団「チーム秋田ショッパーズ」

## 首都圏で秋田の郷土料理を提供

**秋** 田の観光や物産を県外に売り込むため、県はさまざまな活動をしています。 「チーム秋田ショッパーズ」もそのひとつ。首都圏などで秋田の郷土料理や地酒などを扱うお店のネットワークで、秋田への「アクセスポイント」という役割を担っています。

今回は3月にオープンした「なまはげダイニング」を紹介します。



なまはげダイニング  
中央区銀座8丁目  
TEL 03 3571 8799

銀座並木通に面したビルの9階にあるのが「なまはげダイニング」。

県内の若手経営者が昨年末に設立した「秋田活性化株式会社」と都内でレストランを運営する「HYジャパン」が共同で出店しました。

東由利町にあった旧家の部材をふんだんに使い、横手のかまくらをイメージした個室や樽岡焼(南外村)の食器類など、店内は秋田で溢れて

います。また、秋田直送の素材を生かした料理と地酒、秋田弁の接客に加えて、1日2回のなまはげショーが大人気です。

「お客さんの7～8割は銀座のサラリーマンや若いOLです。お勧めはなんといっても、県内の44歳すべてを揃えた地酒。比内地鶏や牛肉も、なかなか手に入らない一級の食材を使っています。ぜひ食べに来てください」と店長の斉藤浩一さん。

お話の最中も、座敷の奥でクラッカーが鳴ったり、歓声が上がったり、パワー全開。

活気があって、にぎやかで、若者に愛されている「なまはげダイニング」。

秋田と銀座がこの場所で交差しています。



店長の斉藤さん



秋田が再現された座敷

## 秋田の新しい観光拠点が誕生

7月13日  
待望のオープン



## 男鹿水族館 GAO

新しく生まれ変わった男鹿水族館GAOが、7月13日(火)男鹿市戸賀にオープンします。

GAOでは、高さ8m・幅15mの巨大水槽の中に男鹿の海を再現した「男鹿の海大水槽」、県の魚ハタハタの特徴ある生態を観察できる「ハタハタ水槽」、世界最大の肉食動物「シロクマ」の生活や豪快な泳ぎを間近に見られる「シロクマ舎」など、約400種類、10,000点の魚や動物たちを展示するほか、さまざまな企画展を行う予定です。

また、館内からは、変化に富んだ男鹿の海岸線や日本海に沈む美しい夕陽も楽しめます。

この夏、たくさんの海の仲間たちと男鹿の美しい景色に会いに、男鹿水族館GAOへ出掛けてみませんか!



男鹿の海大水槽

男鹿周辺に生息する約4,000匹の魚などを展示する水族館のシンボル「男鹿の海大水槽」  
水中トンネルからは、まるで海に潜ると同じ感覚で魚たちを見ることができます。



秋田の川水槽

県内に生息する川魚を見ることが出来る「秋田の川水槽」  
ヤマメやカジカなど約1,200匹の川魚たちが元気に泳ぎ回っています。

入館料 大人1,000円 小中学生400円(お得な年間パスポートもあります)  
開館時間 午前8時30分から午後6時(入館は閉館の30分前まで)  
季節や曜日により異なりますので、休館日も含め詳しくはお問い合わせください。  
交通案内 【車利用】秋田市内から約60キロ(なまはげライン経由 約1時間20分)  
秋田自動車道男鹿昭和ICから約42キロ(なまはげライン経由 約50分)  
【JR・バス利用】JR男鹿線羽立駅から秋田中央交通バス「男鹿水族館」行き



お問い合わせ 男鹿水族館  
TEL 0185(32)221 FAX 0185(32)220  
ホームページ <http://www.gao-aqua.jp/>

# 財政構造の大胆な見直しが急務に

## 財政構造改革検討委員会が設置されました

### これまでの行政改革は大きな成果

県は、社会情勢や財政状況などの大きな変化を先取りし、他県にも負けない行財政改革を推進してきました。現在は、第2期行革推進プログラムを実施していますが、これまでの取り組みは大きな成果をあげています。

ちなみに、平成14年度の決算総額に占める人件費と物件費を加えた経費の割合は26.7%で全国で低い方から2位、経常収支比率は90.4%で全国で低い方から18位となっています。

### 主な取り組みの成果

(財政構造改革検討委員会提出資料)

項目	平成10年度	平成16年度	増減
県債の新規発行額	895億円	392億円	503億円
職員数(知事部局)	4,819人	4,359人	460人
給与総額	1,843億円	1,736億円	107億円
時間外勤務手当	3,494百万円	2,402百万円	1,092百万円

### 三位一体改革の影響

県は、社会の大きな変化にも対応できるようなスリムで効率的な行財政の運営を目指し、来年度から新たな行政改革プログラムを実施する予定です。一方、国は昨年、地方への税源移譲・国庫補助負担金の縮減・地方交付税の見直しという「三位一体改革」を地方に示しました。

この改革による地方交付税などの削減は、当初の予想を大幅に上回り、本県に限らず全国の自治体に大きな影響を与えました。今後、どのような形で決着がついていくのか、はっきりした姿は見えていませんが、自治体の財政状況はさらに厳しいものになると予想されます。

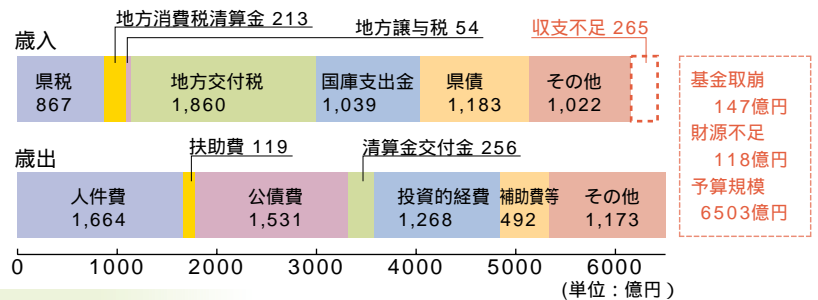
### 平成18年度に財源不足となる県財政

平成16年3月に発表した県の「財政の中期見通し」では、7,051億円(平成16年度)の財政規模が、平成18年度には約6,500億円に縮小すると見込まれ、その中でも地方交付税は2割削減という状況になっています。

大幅な地方交付税などの削減には、これまで以上の経費削減努力に加えて、基金の取り崩しで対応することになっていますが、それでも平成18年度には118億円の財源不足になる見込みです。

### H18年度の歳入歳出見込み

(財政の中期見通し 県財政課 から)



### 財政構造改革検討委員会の設置

このような財政状況のもとで、これからの県行政のあり方を県民の皆さんと一っしょに考えるため、県は4月に「財政構造改革検討委員会」を設置しました。

この委員会是有識者をはじめ、農業、福祉、教育、商工業など各分野の12人からなり、委員長に瀬田川昌裕・秋田経済法科大学教授を選出しました。

### 委員会で検討されたこと



これまで2回開催された委員会で、財政状況や行政改革の現状の説明と意見交換が行われました。この中で、これまでのような行財政改革による経費節減だけでは収支バランスが取れないことが改めて確認されました。

各委員からは「人件費の削減がテーマになった場合、教育や警察も避けて通れない」「市町村合併の進展によって県組織の統廃合も出てくる。施策・事業の中止も必要」といった意見が出されました。

また、県財政の現状を初めて知ったという委員からは「一般の人にもきちんと説明すべき」と注文が出されました。

瀬田川委員長は「事業をやめる勇気と県民への説明責任が大切」としたうえで「この委員会には大胆な見直しの提言が求められている。これにより県民の不安や不満も予想されるが、全力で頑張りたい」と述べました。また、今後の検討テーマは、公共事業の問題、教育の問題、民間に移管できる業務の問題などとするのが了承されました。



この委員会は9月までに5回の開催が予定されており、今後の行財政のあり方について意見・提言を行います。この提言は、平成17年度から実施する次期行革プログラムに反映されます。

なお、提言内容などは、引き続きこの広報紙でもお知らせします。

お問い合わせ 県総務課  
TEL 018(860)1054  
FAX 018(860)1056



# 「三位一体改革」シンポ 秋田市で開催

～中央と地方の役割について熱い議論～

佐々木 毅氏▶



「地方分権・三位一体改革列島縦断シンポジウム」(全国知事会など地方6団体主催)が5月29日(土) 秋田県立大学秋田キャンパスで開かれました。

会場は570人にのぼる県民や行政関係者で満員。三位一体改革への関心の高さがうかがえました。

基調講演で佐々木毅東京大学総長は、三位一体改革は決して簡単ではなく、実現を担保するシステムづくりが重要と述べました。また、北東北3県の知事らによるパネルディスカッションでは、国に対する厳しい意見や注文が相次ぎました。

寺田知事は「地方が改革を先行させることで、国を変えていきたい」と改革への強い意欲を示すとともに、市町村への権限移譲の際は人も付ける、などと述べました。

また、各県知事からは「国は削減の目標と期間を示すべきだ」「住民は国から金を取ってくる首長を評価してきたが、今は少ない負担でより充実したサービスを望んでいる」などの発言がありました。

岩崎美紀子筑波大学教授からは「国の財政再建と地方分権は両立する。北東北3県から情報発信して、日本を変えてほしい」と熱いエール。

最後に、佐々木総長が「政府はしっかりワーク(機能)することが大切。地方自治体も規模の大小ではなく、ワークしているかどうかだ」と述べて、シンポジウムを終えました。



## 募集!

## 審議会の委員を募集しています!!

県は、県民の皆さんの県政への積極的な参画を進めており、次の審議会の委員を募集しています。

募集期間  
8月6日  
まで

- ① 障害者施策推進協議会(女性2人、作文:障害福祉課)
- ② 医療審議会(2人、面接:医務薬事課)
- ③ スポーツ振興審議会(2人、作文:保健体育課)
- ④ 消費生活審議会(1人、作文:県民文化政策課)
- ⑤ 青少年環境浄化審議会(1人、25歳以上、作文:県民文化政策課)
- ⑥ 産業教育審議会(6人、抽選:高校教育課)
- ⑦ 血液事業推進協議会(女性1人、18歳以上、面接:医務薬事課)
- ⑧ 秋田県ハーモニー懇話会(5人、作文:男女共同参画課)
- ⑨ 教職員健康審査会(5人、面接:高校教育課)

- ⑩ 森林審議会(女性1人、作文:森林環境対策室)
- ⑪ 地価調査委員会(女性2人、作文:建設管理課)
- ⑫ 農林水産技術開発推進会議(女性2人、作文:農畜産振興課)

### 共通の応募条件

- ・県内在住の20歳以上の方(議員、常勤公務員を除く)
- ・現在、県の審議会などの委員に就任されている方は除きます。(就任前に今の任期が終了する場合は、対象に入ります。)

### 申込方法など

- ・応募申込書に必要書類を添付して、県総務課へ申し込んでください。
- ・応募用紙などは、電話、ファクス、電子メールで、県総務課に請求してください。県庁及び各地域振興局の県民ホールにも備え付けています。

### お問い合わせ 県総務課

TEL 018 860 2084 FAX 018 860 1056  
Email soumuka.@pref.akita.lg.jp

# 健康

新時代  
セミナー vol.3

健康づくりへの  
ワンポイント  
アドバイス



その1

その2

## 健康づくりと「生活の質(QOL:クオリティー・オブ・ライフ)」

「健康とは?」と聞かれたら、あなたはどのように答えますか。

身体的に病気や障害がなくても、元気でない場合があります。逆に病気や障害があっても、生き生きと活動している人もたくさんいます。

身体的な健康は、その人の生活の質(QOL)を高めるための一要素に過ぎません。健康づくりの最終的な目標は、このQOLを高めることにあります。

「たとえ病気や障害を抱えていても、目標を持ち、自分らしさを大切にしながら生き生きと自分の人生を作り上げていくこと」が真の健康づくりと考えています。

健康づくりは、自分にあった長続きできる方法を見つけることが大切です。例えば、時間がない人は通勤・通学の途中で意識的に階段を使ったり、仲間を募り曜日を決めてスポーツに取り組むなど。皆さんも工夫して長続きできる健康づくりに取り組んでみてはいかがでしょうか。

朝ごはんを食べない人が増えています。

朝ごはんは三度の食事の中でもっとも吸収がよく、一日の活力の源になります。採りたての緑・黄・赤色野菜や果物をプラスし、しっかり食べて一日元気に過ごしましょう!

# 情報のひろば

この内容は、県のホームページ「美の国あきたネット」(http://www.pref.akita.jp/)の各課のサイトからもご覧いただけます。

## 募集

### 知事と語ろう 「とことんトーク」

地域の課題を知事と直接語り合う「とことんトーク」の参加者を募集します。

日時・会場

- 7月20日(火) 午後 2時30分 男鹿市
- 8月 4日(水) 午前10時 横手市
- 8月 4日(水) 午後 2時 羽後町
- 8月20日(金) 午前10時 大館市
- 8月20日(金) 午後 2時30分 藤里町
- 9月 7日(火) 午後 2時 本荘市

定員 各会場10人(傍聴もできます)

申込期間 開催日の2週間前まで

☎最寄りの県地域振興局地域企画課または県総合政策課 TEL 018(860)1215

### 地域連携軸を考える 特別公開講座

北東北3県の連携について考える講座を開催します。北東北3県にお住まいの方は、どなたでも参加できます。

県北会場... 八森町 小坂町

- 9月12日(日)... 本館城跡(八森町)を中心に五能線沿線の交流を学ぶ

- 9月17日(金)... 十和田湖周辺の観光事情を考える

県南会場... 岩手県石鳥谷町 田沢湖町

- 10月17日(日)... 南部杜氏の里「石鳥谷」に地域・人づくりを学ぶ

- 10月23日(土)... 生保内と雫石を結んだ「助小屋」に地域間交流を学ぶ

受講料 県北・県南とも2講座で1,200円  
1講座のみ受講の場合は800円

募集期間 7月31日(土)まで

☎県生涯学習センター

TEL 018(865)1171 FAX 018(824)1799

### 子育て支援・男女共同参画推進 キャンペーン応援作品の募集

「子どもや親やパートナーに伝えたい、あなたの想いをテーマにした作品を募集します。



募集部門

- メッセージ部門(400字程度)
- ポスター部門(A4~A1版)
- デジタルアート部門(はがき~A4版)

募集期間 8月31日(火)まで

☎県子育て支援課

TEL 018(860)1342 FAX 018(860)8844

### 特産品開発コンクールの作品募集

特産品の開発・改良を目的にコンクールを開催します。

審査対象 食品、民芸品、木工芸品など

応募資格 新開発商品 販売後1年以内  
改良商品 改良後3年以内

募集期間 7月15日(木)~9月20日(月)

☎財 秋田県物産振興会 TEL 018(836)7830

### 「あきた起業家道場」会員募集

インターネットを活用して創業・企業を支援するサイト「あきた起業家道場」を開設しました。創業に関心のある方、創業間もない方をバックアップします。

道場ホームページ

http://www.bic-akita.or.jp/kigyouka/

☎財 あきた産業振興機構

TEL 018(860)5701 FAX 018(860)5704

### 「緑の交流会」参加者募集

子どもたちが自然体験を通じて、水と緑を守り育てる心を培う交流会を開催します。

日時 8月10日(火) 午後1時30分

8月11日(水) 正午

会場 太平山自然学習センター

(秋田市仁別) 参加料は無料です。

対象 小学校4年から6年生

(保護者の同伴が必要です)

募集期間 7月26日(月)まで

☎県森林環境対策室

TEL 018(860)1750 FAX 018(860)8838

## お知らせ

### 8月は「Aターン就職促進月間」です

県は、8月を「Aターン就職促進月間」とし、Aターン就職相談会の開催や県内各八ローワークにAターン就職相談窓口を設置します。また、Aターン就職相談は、Aターンプラザ秋田(東京)や北海道・名古屋・大阪の各県外事務所でも受け付け

ます。家族の方も相談できますので、ご活用ください。

就職相談会の会場・日程などは、お問い合わせください。

☎県雇用対策室 TEL 018(860)2333

### 第9回テクノゾーンフェスティバル

県工業技術センター、県高度技術研究所、県総合食品研究所の施設を開放します。

親子で科学の不思議やモノづくりの楽しさを体験してみませんか。

日時 8月7日(土)~8日(日)

午前10時~午後4時

会場 テクノリサーチゾーン

(秋田市向浜) 入場料は無料です

☎県商工業振興課

TEL 018(860)2242 FAX 018(860)8887

### キッズ武道教室の開催

日本古来の武道のすばらしさを体験してみませんか。

開催日

7月27日(火)~28日(水)

柔道、少林寺拳法、相撲、合気道、弓道

8月5日(木)~6日(金) 剣道、なぎなた

8月12日(木)~13日(金) 空手道

会場 県立武道館(秋田市)

申込期間 7月20日(火)まで

参加料 500円(保険料を含む)

用具は各自持参

☎県立武道館

TEL 018(862)6651 FAX 018(896)6433

### 競争入札参加業者の登録制度

10月から、県が発注する庁舎維持管理業務の入札に参加するには、県に資格審査申請を行い、認定を受けることが必要となります。

申請書の配布・提出先

県管財課、各地域振興局総務経理課

申請受付期間 8月31日(火)まで

☎県管財課 TEL 018(860)2731

または最寄りの県地域振興局総務経理課

## 試験

### 「消費生活専門相談員」

資格認定試験の第1次試験を実施します。

試験日 10月2日(土)

会場 アトリオン(秋田市) 予定

受験料 10,500円

試験内容 消費者問題に係わる一般常識・法律知識など

申込期間 7月20日(火)~8月20日(金)

☎国民生活センター資格制度事務局

TEL 042(758)164



# 広報の窓

## 個人情報保護への警鐘

～県民行政相談員が知事に報告～

県民行政相談員が6月1日(火) 平成15年度の活動状況を寺田知事に報告しました。

平成11年5月に設置された県民行政相談員は、県政に対する県民の苦情を調査・処理し、必要があれば是正や制度の改善などを県に提言します。

佐藤達夫相談員は「県が保有する膨大な個人情報の保護と管理に、職員が細心の注意を払うことが課題である」と述べ、「個人情報保護法」の施行をひかえ個人情報保護の重要性を認識し、管理を徹底するように求めました。

また、苦情の総受付件数が減少したことについては、「件数は減っているものの、いまだ県民の中には、行政への苦情が潜在し



寺田知事に報告書を手渡す佐藤達夫相談員(中)と倉田正義相談員(右)

ているのだろう」との見解を示しました。昨年度の総受付数は137件で、14年度より42件減少。このうち相談制度の照会や事務の担当窓口への照会などを除き、苦情として受け付けたものは59件となっています。

## 県政への苦情は県民行政相談室へ

県政に対するあなた自身の利害にかかわる苦情を、県民行政相談員が公正中立の立場で調査、処理します。

相談日時 火、水、木、金の  
午前10時～午後4時  
受付場所 県民行政相談室(県庁1階)  
電話 フリーダイヤル0120-229079  
(携帯電話からは018(860)1082,1083をご利用ください)  
Eメール kujyou@mail2.pref.akita.jp

## 今月の広報番組

(内容は都合により変更になる場合があります)

### テレビ

#### こちらお茶の間情報局

- ABS 毎週日曜日11:00～11:15
- 7月 4日 県議会だよ
- 11日 スーパー・イングリッシュ指定校～県立秋田南高校
- 18日 北東北3県大阪アンテナショップ jengo(北東北3県連携番組予定)
- 25日 男鹿水族館GAOオープン!

#### 秋田花まるっ

- AKT 毎週月曜日21:54～22:00
- 7月 5日 ゴンドラで行く森吉山紀行
- 12日 オープン直前!男鹿水族館GAO
- 19日 リニューアルオープン!男鹿水族館GAO
- 26日 マンスリー県政情報

#### あきた東西南北

- AAB 毎週土曜日9:30～9:45
- 7月 3日 秋田のハイテク最前線～工業技術センター
- 10日 グリーンツーリズムの魅力
- 17日 犬とともにある暮らし～動物管理センター
- 24日 「白神ぶなっこ教室(アンコール放送)(31日は番組をお休みします。)

### ラジオ

#### 県庁だよ

- ABS 月～金11:45～11:50
- モーニングスマイル
- エフエム秋田 毎週土曜日 8:30～8:55

## 春夏秋冬 こぼれ話

シリーズ64

文 小西 一三 / 絵 小西由紀子

### ゼンマイと同じように もんで仕上げる干しワラビ



高橋 健生さん(56)

ゼンマイ干したば  
天気が気になる  
とも、これなら  
大丈夫。何日  
みいても腐る  
心配がねえ  
から、天気  
良くなるの  
待てるすべ?

ゴザの上にしゃがみ込み、体重をかけるようにもみ続ける。その作業風景は遠くから見ると、まさにゼンマイ干しにそっくり。しかし近づいてみるとそれは赤褐色ではなく、白っぽい。灰をまぶしたゼンマイのようにも見える。

「この白っぽく見えるのは塩漬のワラビを干すから塩が吹き出してくるんだ」と説明してくれたのは、上小阿仁村、高橋旅館のご主人、高橋健生さん(56)。昔からワラビを保存するには塩漬が一般的だが、その塩漬をわざわざ手間をかけて干しあげるとは、どんなメリットがあるのだろう。

「塩漬のワラビは、塩出しすれば味噌汁の実かおひたしにして食べるのが普通です。ところがこうして干せば、ゼンマイと同じ、煮付けにも使えるから」と高橋さん。高橋さんのおばあさんはこれを使って「わらび一本煮」を作り、その味は宿のお客さんに評判だったという。

かつては村内のあちこちで作られていた干しワラビだが、最近は作る人もめっきり少なくなっ

たとか。高橋さんはおばあさんが作ってくれた懐かしい「わらび一本煮」を商品化しようと、試行錯誤の真っ最中。そのためにも、ある程度の量の干しワラビが必要となる。

「村の人からワラビを買って塩漬にしておき、天気の良い日を見計らって干す。一日中もんだりするもんだが、容易でねえ。だから、この作業は近所のかあさんに頼んでやってもらってるともな...」と高橋さんは笑う。

晴天が続いてもしっかり乾燥するまで最低二日、食べる時はお湯でさっと戻して流水にさらすが、完全に塩が抜けるまで三日はかかるというから、なんとも手間のかかる保存食だ。

最近では冷凍庫の普及で採れたてをそのまま冷凍保存。その都度湯がいて真冬でも旬の味に近いワラビを食べる家庭も増えつつある。しかし、昔ながらの塩漬や干した山菜には、生では味わえない独特の味と食感がある。手間はかかるが試してみたいと思った。



当日投票  
できない方は、  
期日前投票  
不在者投票を  
しましょう。

お問い合わせ

県選挙管理委員会  
秋田県  
明るい選挙推進協議会  
TEL 018(860)1145

# 游学

さんぽみち

## 県立近代美術館

横手市赤坂 TEL018(33)8855

企画展「光と闇 華麗なる17世紀ヨーロッパ絵画」

17世紀のヨーロッパ絵画の巨匠ルーベンス、レンブラント、ベラスケス、ムリーリョらの作品を集め、後期ルネサンスからバロックまでの大きな流れを展覧します。



レンブラント  
『髭のある男の肖像』

日時 7月17日(土)~8月29日(日)  
午前9時30分~午後5時 入館は午後4時30分まで)  
観覧料 一般800円、学生600円、小・中学生400円  
ホームページ [http://www.pref.akita.jp/gakusyu/public\\_html/tenji.html](http://www.pref.akita.jp/gakusyu/public_html/tenji.html)

## 総合生活文化会館

### アトリオン音楽ホール

秋田市中通 TEL018(836)7803

県主催コンサート わらび座「響」

日本の伝統楽器の響きと洋楽の要素を融合させた独自の世界をお楽しみください。



日時 7月25日(日) 午後2時開演 午後1時30分開場)  
プログラム よされ節、ソグディアナダンス ほか  
前売り券 3,000円(全席自由)  
発売期間 7月24日まで(県内各プレイガイドでお求めください)  
ホームページ <http://www.pref.akita.jp/atorion/>

## 埋蔵文化財センター

仙北郡仙北町 TEL0187(69)3331

縄文発見! ワクワク体験

縄文土器、勾玉づくりなどの他、発掘現場体験、拓本どりなどが楽しめます。

参加者が自由にメニューを選んで取り組めます。  
日時 7月28日(水)~30日(金)  
午前9時30分~午後0時、午後1時~午後3時30分  
対象 幼児(保護者同伴)小学生・中学生・一般  
参加費 お一人500円程度  
申し込み期限 7月9日(金)  
ホームページ [http://www.pref.akita.jp/gakusyu/maibun\\_hp/index2.htm](http://www.pref.akita.jp/gakusyu/maibun_hp/index2.htm)

県政だより「あきた新時代」は県内全世帯にお届けしています。ご近所などで配達されない方がおられましたら、県情報公開課までお知らせください。また、ご感想などをお待ちしています。

県政だより「あきた新時代」は県のホームページ「美の国あきたネット」で紹介しています。

アドレスは、<http://www.pref.akita.jp/>

県政だより「あきた新時代」は、点字版、音読テープ版も発行しています。ご希望の方は、県情報公開課までお知らせください。

## 100万人の環境講座 No.4



### 思いやりをもって自然に接しましょう

秋田県は、世界遺産「白神山」や十和田八幡平国立公園などの自然公園も多く、恵まれた環境にあります。こうした自然とふれあう機会が多い一方で、自然環境には黄色信号が灯り始めています。本県で絶滅の恐れのある野生の動植物は約720種。イヌワシやクマガイはもちろん、実はフクジュソウも絶滅が危惧されています。

豊かな自然環境も、私たち一人ひとりがルールを守らなければたちまち壊れてしまいます。思いやりを忘れず、次の世代に豊かな自然を引き継ぎましょう。

### 「自然観察会」を開催します

日時 8月8日(日) 9月26日(日) 各午前10時~午後2時  
会場 環境と文化のむら(五城目町)  
定員 各30名(参加費無料)  
内容 8月8日「自然観察・昆虫」、9月26日「きのこのおはなし」  
申込先 環境と文化のむら(県鳥獣保護センター内)  
TEL 018(852)2134  
ホームページ <http://www.kankyounbunka.jp/>

### クイズ

正解者の中から抽選で、10人の方に図書カード(千円分)をお贈りします。

問題 男鹿水族館GAOには、何種類の魚や動物たちが展示されているでしょうか?(P3参照)

- (1) 約40種類
- (2) 約400種類
- (3) 約10,000種類

応募方法 答え、郵便番号、住所、氏名(読みがな)年齢と本紙の感想などをお書きのうえ、〒010-8570県情報公開課クイズ係 住所は不要 までお送りください。締め切りは7月26日(消印有効)、ハガキ、ファクス(018-860-1072)、Eメール(sinjidai@mail2.pref.akita.jp)でどうぞ(メールアドレスが変更になりましたので、お間違いのないようにしてください。)

5月号の正解は「3,577,050億円」でした。応募336通、うち正解336通の中から抽選で次の方々当選されました。内田忠志さん(大館市)、高橋理枝さん、村田康行さん(以上、能代市)、日沼宏さん(八森町)、栢森慶子さん(大湯村)、稲舟典子さん、斉藤イツ子さん(以上、秋田市)、田口晃平さん、田口久美子さん(以上、大曲市)、田口米男さん(六郷町)

### 編集部から

三位一体改革シンポジウム取材しました。地方にとって三位一体改革は重要なテーマですが、硬い内容だけに聴衆は少ないものと思っていました。ところが県立大学講堂は満席。行政関係者だけのシンポジウムに終わらなかったのは、県民意識が大きく変ってきたということでしょうか。激動の渦の中にある今だからこそ、地方の声をしっかり届けなければなりません。生まれ変わった男鹿水族館GAO。建物も展示内容も管理運営も一新しました。「男鹿の海 大水槽」や「八タ八水水槽」はもちろん素晴らしいのですが、日本海の荒海や沈む夕日という雄大な景観は言葉では言い尽くせぬほど。一度味わってみてはいかがでしょうか。



県人口 1,161,326人 (+465)  
男 549,036人 (+357)  
女 612,290人 (+108)  
世帯数 397,851世帯(+2,014)

(平成16年5月1日現在の推計値。カッコ内は前月比)



古紙配合率100%再生紙を使用しています